

三田祭論文

地元愛が環境保全活動に 与える影響

慶應義塾大学 大垣昌夫研究会

王伊菲・柏木啓・中川聡・中込知亜季

2013年11月

目次

1. はじめに（問題意識）	3
2. 先行研究	3
3. 調査方法	4
4. 研究結果	5
5. 考察.....	12
6. 結論.....	12
7. 付録.....	13
参考文献	14

1. はじめに（問題意識）

近年、地球温暖化やオゾン層の破壊など環境問題に関する話題が絶えることがない。2013年9月に行われた気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の中でも、地球温暖化が人為起源の問題である確率は95%であるという報告がなされているほどである。そんな問題に対処すべく、政府も積極的にエコを推進し、企業もエコを売りにした商品を多く発売するようになってきている。その成果もあってか、平成20年度の内閣府国民生活局が行う「環境に配慮した日常生活に関する国民の意識・行動調査」において、「あなたは、地球温暖化防止のため、日常生活における取組について、どのようにお考えになりますか。」という質問に対し、「積極的に取り組む」あるいは「できる部分があれば取り組む」と回答した人が全体の約98%を占めている。過去の調査と比較するとわずかに減少しているが、依然として高い数値を保っていると言えるだろう。この結果から、自分に出来る範囲のことであれば環境保全に関する取り組みを行おうと考えているということがわかる。

そんな中、地域に根差した環境保全活動が頻繁に行われるようになってきたり、ゴミ拾いなどの活動を中心としたNPO団体が数を増やしたりしている。こうした環境保全活動には地域への愛着が関係しているのではないかと考えた。「地域に対する愛着の形成過程の検討」(2006, 引地博之, 青木俊明, 大淵憲一)において「地域に対する愛着を扱った研究では、愛着を持つ住民ほど、地域活動への参加意向やコミュニティバスの利用率が高いことが報告されている。地域活動への参加や公共交通の利用には、『地域社会や地球環境の保護に貢献する』といった社会貢献の側面と『私的な時間や快適な移動の機会を失う』という私的損失の側面が存在する。」といった言及がなされており、地域への愛着の持つ地域活動への影響力の大きさをうかがうことが出来る。そこで自らの地域に対する愛着心と環境保全活動の関係を明らかにしようとするのが本研究の目的である。また本研究内で扱う環境保全活動とは、植林やナショナルトラスト運動のような大規模なものではなく、ゴミ拾いのような小さな活動を指すこととする。

2. 先行研究

環境意識を調査したものの中に市民活動に関して言及したものはあったが、環境保全活動と地元愛の関係に関して直接言及している研究はなかった。そこで環境保全活動におけるNPO団体の重要性に関して言及しているものがあったのでそれを参考とした。

「環境社会学 生活者の立場から考える」鳥越皓之(2004)によると、近年ボランティア

やNPOへの注目度が高まっていると書かれており、その理由として3つが挙げられている。1つ目は日本では1980年代以降ボランティアの活動が目立つようになってきたこと。2つ目は先進国において、生活の量的拡大ではなく質的向上が求められるようになり、これにNPOなど民間の諸組織の果たす役割が期待されることになった。3つ目は途上国に対する国際的な開発政策から出てきた「オルタナティブ開発論」（急速な経済成長、工業科中心、都市偏重というモデルの代わりに食糧や水、住居といった人間の基本的ニーズの充足に焦点を当てるもの）の影響である。

また「環境の社会学」関・中澤・丸山・田中（2009年）では市民参加の重要性を説いている上、市民参加が実際に社会的に一定の役割を果たしているとの記述もある。以上より市民活動が環境問題の解決にもたらす影響は大きいと考えられ、とりわけNPO団体という固有の目的を持った団体の活動の影響は大きいと考えられる。よって本研究中ではNPO団体への個別の調査も行うこととする。

さらに「環境に配慮したい気持ちと行動 エゴから本当のエコへ」和田・三浦（2007年）には「市民のごみ・環境問題についての認知は、自治体からのゴミの減量化等に関する情報により進むと考えられる。」とあるように、日本における環境問題意識の向上には自治体の影響力が大きいと考えられる。地元愛が高まり、自治体への関心・参加が高まれば自然と環境意識も高まるのではないかということが推測できる。よって本研究では地元愛を世界観として設定し、調査を行った。

3. 調査方法

調査ではTwitterとFacebook、紙媒体を利用した。また、日頃から環境保全活動に参加している人とそうでない人の結果の違いを比較するため、地域のゴミ拾いボランティアを行うNPO団体であるgreen birdの活動参加者へもアンケート調査を行った。質問は説明変数について聞く質問と被説明変数について聞く質問の2種類用意し、地元愛の強さを調べる質問を説明変数とおき、それをもとに環境保全活動に関する質問を被説明変数として、質問に対する回答を1～5の数値に置き換えて回帰分析を行った。数値については、地元愛が強いほど、環境保全意欲が高いほど数が大きくなるようにしている。尚、「地元」は「その人が地元だと思う場所」と定義してアンケートを作成し、地元の範囲については、イメージのしやすさと実際に地域の環境保全活動が行われている範囲を考慮して、市区町村単位での回答としている。

アンケートの質問を作成するにあたって、地元愛については「地域社会への態度の類型

化について—その尺度構成と背景要因— 田中・藤本・植村（1978）のコミュニティ意識に関する質問項目を、環境保全活動に対する意識については「環境および環境教育に対する意識尺度の開発」黒澤・村松・島田（2012）の環境に対する意識尺度の予備調査項目を参照した。尚、具体的なアンケートについては後述のものを参照して頂きたい。

4. 結果

今回の調査では Q4～7 が説明変数(地元愛の強さ)に関する質問, Q8～11 が被説明変数(環境保全活動への意欲の強さ)に関する質問となっている。本研究では説明変数に関する質問 4 問と被説明変数に関する質問 4 問について、単回帰分析することで関連性を見出すこととする。またその際、NPO 団体の方々と一般の方々の回答結果の差をわかりやすくするために、NPO ダミーをダミー変数として設定し、分析を行った。以下がその結果の中で有意なものである。

<表 1-1 >

モデル要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の標準誤差
1	.360 ^a	.130	.119	1.182

a. 予測値: (定数)、NPO ダミー、あなたは地元で永住したいですか。

分散分析^a

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
1	回帰	34.947	2	17.474	12.515	.000 ^b
	残差	234.573	168	1.396		
	合計	269.520	170			

a. 従属変数 ポイ捨てをしないなど、地元の環境を大切にすることを日頃から心掛けている

b. 予測値: (定数)、NPO ダミー、あなたは地元で永住したいですか。

係数^a

モデル	標準化されていない係数	標準化係	t 値	有意
-----	-------------	------	-----	----

				数		確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	2.786	.302		9.237	.000
	あなたは地元で永 住したいですか	.209	.093	.163	2.255	.025
	NPO ダミー	.942	.220	.309	4.278	.000

a. 従属変数 ポイ捨てをしないなど、地元の環境を大切にすることを日頃から心掛けている

<表 1-2>

モデル要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の 標準誤差
1	.492 ^a	.242	.233	1.030

a. 予測値: (定数)、NPO ダミー, あなたは地元で永住したいですか。

分散分析^a

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意 確率
1	回帰	56.280	2	28.140	26.500	.000 ^b
	残差	176.276	166	1.062		
	合計	232.556	168			

a. 従属変数 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う

b. 予測値: (定数)、NPO ダミー, あなたは地元で永住したいですか。

係数^a

モデル		標準化されていない係数		標準化係 数	t 値	有意 確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	2.298	.266		8.646	.000
	あなたは地元で永 住したいですか	.203	.082	.167	2.475	.014
	NPO ダミー	1.317	.196	.455	6.723	.000

a. 従属変数 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う

<表 1-3>

モデル要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の 標準誤差
1	.423 ^a	.179	.169	1.067

a. 予測値: (定数)、あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか、NPO ダミー。

分散分析^a

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意 確率
1	回帰	41.430	2	20.715	18.200	.000 ^b
	残差	190.076	167	1.138		
	合計	231.506	169			

a. 従属変数 公園といった地元の公共施設の清掃は、地域住民で力を合わせてやりたい

b. 予測値: (定数)、あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか、NPO ダミー。

係数^a

モデル		標準化されていない係数		標準化係 数	t 値	有意 確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	2.347	.265		8.843	.000
	あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか	.177	.068	.182	2.595	.010
	NPO ダミー	1.068	.200	.374	5.328	.000

a. 従属変数 公園といった地元の公共施設の清掃は、地域住民で力を合わせてやりたい

<表 1-4>

モデル要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の 標準誤差
1	.481 ^a	.231	.222	1.039

a. 予測値: (定数)、あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか、NPO ダミー。

分散分析 ^a

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意 確率
1	回帰	53.641	2	26.820	24.825	.000 ^b
	残差	178.264	165	1.080		
	合計	231.905	167			

a. 従属変数 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う

b. 予測値: (定数)、あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか、NPO ダミー。

係数 ^a

モデル		標準化されていない係数		標準化係 数	t 値	有意 確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	2.423	.260		9.316	.000
	あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか	.136	.067	.139	2.030	.044
	NPO ダミー	1.339	.200	.458	6.708	.000

a. 従属変数 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う

<表 1-5>

モデル要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の 標準誤差
-----	---	------	--------------	--------------

1	.455 ^a	.207	.197	1.047
---	-------------------	------	------	-------

a. 予測値: (定数)、あなたは、自分が地元地域の一員であったことを良かったと思いますか, NPO ダミー。

分散分析^a

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
1	回帰	47.979	2	23.990	21.889	.000 ^b
	残差	184.126	168	1.096		
	合計	232.105	170			

a. 従属変数 公園といった地元の公共施設の清掃は、地域住民で力を合わせてやりたい

b. 予測値: (定数)、あなたは、自分が地元地域の一員であったことを良かったと思いますか, NPO ダミー。

係数^a

モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t 値	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	2.037	.286		7.126	.000
	あなたは、自分が地元地域の一員であったことを良かったと思いますか	.266	.076	.243	3.526	.001
	NPO ダミー	1.030	.195	.364	5.276	.000

a. 従属変数 公園といった地元の公共施設の清掃は、地域住民で力を合わせてやりたい

<表 1-6>

モデル要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の標準誤差
1	.509 ^a	.259	.250	1.019

a. 予測値: (定数)、あなたは、自分が地元地域の一員であったことを良かったと思いますか, NPO ダミー。

分散分析^a

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意 確率
1	回帰	60.183	2	30.091	28.979	.000 ^b
	残差	172.373	166	1.038		
	合計	232.556	168			

a. 従属変数 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う

b. 予測値: (定数)、あなたは、自分が地元地域の一員であったことを良かったと思いませんか, NPO ダミー。

係数^a

モデル		標準化されていない係数		標準化係 数	t 値	有意 確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	2.079	.279		7.447	.000
	あなたは、自分が地 元地域の一員であ ったことを良かった と思いませんか	.234	.074	.212	3.166	.002
	NPO ダミー	1.297	.194	.448	6.688	.000

a. 従属変数 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う

表 1-1 から 1-6 までは環境保全活動に関する質問項目を被説明変数に、地元愛に関する質問項目と NPO ダミーを説明変数に投入して重回帰分析を行った結果である。多くの質問項目間で 1%水準の有意な結果が得られた。このことから地元愛が環境保全活動に影響を与えていると断言することができる。また NPO ダミーについても有意な結果が得られたため、環境意識の高い NPO 団体 green bird の方々の方がより地元愛が環境保全活動にもたらす影響が強いと言える。

<表 2 t 検定>

独立サンプルの検定

	等分散性のため	2 つの母平均の差の検定
--	---------	--------------

		の Levene の検定						
		F 値	有意確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤差
公園といった地元の公共施設の清掃は、地域住民で力を合わせてやりたい。	等分散を仮定する。	10.624	.001	-5.419	169	.000	-1.089	.201
	等分散を仮定しない。			-7.008	92.877			.000
ポイ捨てをしないなど、地元の環境を大切にすることを日頃から心掛けている。	等分散を仮定する。	43.498	.000	-4.413	169	.000	-.980	.222
	等分散を仮定しない。			-6.160	112.859			.000
地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う。	等分散を仮定する。	9.975	.002	-6.744	167	.000	-1.339	.199
	等分散を仮定しない。			-8.485	78.651			.000

以上の表は、集計結果を Web 上でのものと green bird に対するものでグルーピングし、t 検定を行った。その結果、環境保全活動に関する質問項目全てにおいて有意差が見られ、Web 上で回答した被験者の環境保全活動への意識が低いということが伺える。

5. 考察

研究結果より、地元愛の強さと環境保全活動への意欲の強さには関連性が有るという研究仮説は正しいと考えられる。また、回帰式の係数が正であることから、地元愛の強い人ほど環境保全活動への意欲も強い傾向にあるということが分かった。

Web 調査と green bird への調査の分析結果を比較すると、上記の質問の組み合わせでは Web よりも green bird の方が非常に有意性の高い分析結果が得られたが、他の質問の組み合わせでも総じて有意性が高いわけではなかった。これは、green bird のアンケート対象者の環境保全活動への意欲は軒並み高かったのに対して、地元愛の強さには Web による調査結果と同じようにバラつきが生じていたためだと考えられる。

6. おわりに

今回の研究では、地元愛が強いほど地元の環境保全活動への意欲が高いという調査結果が得られた。その上、環境保全活動に関わる NPO 団体の参加者を対象とした調査と、Web による一般調査ともに、地元愛が強いほど環境保全活動への意識も高いという同様の結果を得ることができ、NPO 団体への調査のほうが、有意性が高いことが分かった。

しかし今回、NPO 団体への調査は green bird の一団体への調査のみにとどまっている。「1. はじめに」や「2. 先行研究」で述べたように環境保全活動においてボランティアや NPO が大きな存在となってきているため、green bird のような NPO 団体への調査は、このような環境保全活動に関する研究においては重要な調査であると言える。もちろん、環境保全活動を行っている全ての NPO 団体に調査を行うことは現実的ではないが、green bird 以外の NPO 団体への調査も行ってみる価値があると考えられる。

付録

Q1 あなたの年齢を教えてください。

Q2 あなたの職業を教えてください。（高校生以下／大学生・大学院生／主婦／自営業／サラリーマン／その他（自由記述）

Q3 あなたが思う、あなたの地元はどこですか。市区町村単位でお答えください。（自由記述）

Q4 あなたの地元の好きなおところはどこですか。次の選択肢のうち当てはまるものを全て選択してください。（自然／食べ物／立地／サービスなど／イベント／歴史／なし／その他（自由記述）

Q5 あなたは地元で永住したいですか。（絶対に永住したくない／あまり永住したくない／どちらでも構わない／事情が許せば永住したい／絶対に永住したい）

Q6 あなたは、地元に対して、自分たちの町だという気持ちを持てますか。（全く持てない／あまり持てない／どちらでもない／少し持てる／非常に持てる）

Q7 あなたは、自分が地元地域の一員であったことを良かったと思いますか。

全く思わない あまり思わない どちらともいえない 少し思う 非常に思う

Q8 公園といった地元の公共施設の清掃は、地域住民で力を合わせてやりたい。

全く思わない あまり思わない どちらともいえない 少し思う 非常に思う

Q9 ポイ捨てをしないなど、地元の環境を大切にすることを日頃から心掛けている。

全く当てはまらない あまり当てはまらない どちらともいえない 少し当てはまる 非常に当てはまる

Q10 地元の環境保全をする活動があれば、積極的に参加したいと思う。

全く思わない あまり思わない どちらともいえない 少し思う 非常に思う

Q11 あなたは地元のゴミ拾い活動のような地元の環境保全活動に参加したことがありますか。

はい いいえ

7. 参考文献

- ・黒澤春香，村松浩幸，島田英昭，2012. 環境および環境教育に対する意識尺度の開発. 信州大学教育学部研究論集 5, 1-13.
- ・引地博之，青木俊明，大淵憲一，2006. 地域に対する愛着の形成過程の検討.
- ・田中国夫，藤本忠明，植村勝彦，1978. 地域社会への態度の類型化について—その尺度構成と背景要因—. 心理学研究 49(1), 36-43.
- ・鳥越皓之，2004. 環境社会学 生活者の立場から考える. 東京大学出版会，東京.
- ・関礼子，中澤秀雄，丸山康司，田中求，2009. 環境の社会学. 有斐閣，東京.
- ・和田安彦，三浦浩之，2007. 環境に配慮したい気持ちと行動 エゴから本当のエコへ. 技報堂出版，東京.